

施設園芸の担い手の創造と能力向上の支援

女性農業者による自主的な学習活動の支援

(課題番号 10)

- ◆活動年次：令和3～5年度
- ◆対象：スマイルトマト女子会会員 43名
- ◆目標事項：女性農業者による自主的なワークショップの開催
- ◆到達度合：ワークショップの開催数 0回→1回（100%）

1 課題の背景

	R3	R4	R5
女子会の取組	・生産部会所属組織へ ・栽培技術改善への取組	・自主的な講習会の立案・企画・開催 ・夫婦参加の促進・ともに学ぶ	-目的- より自主的・ 意欲的な 学習活動へ
普及Cの取組	・栽培技術の習得・改善 の取組への支援	・役員の立案・企画・開催への助言 ・会員の積極的な参加を促進	-目標- ・ワークショップの自主的な開催・運営 ・栽培技術の習得と経営参画 ・自主的な組織運営・技術改善支援の継続

2 活動の経過

〈企画係による自主的な立案・企画の支援〉

- ・初の試みとなる「ワークショップ」開催の提案があり、企画係を主体とした開催・運営に向けての助言を行った。

企画会議 第1回 (R5.4)

- ・年間活動計画の策定
- ・町内視察に向けた具体的な協議

【年間活動計画】

- 6月 町内トマト栽培視察
- 8月 町内きゅうり栽培視察
- 11月刈払機メンテナンス講習会
- 12月 トラクタ運転講習会
- 12月 ワークショップ
- 1月 応用座学講習会（肥料）

第2回 (R5.10)

- ・現地講習会の
具体的な内容の協議

第3回 (R5.11)

- ・ワークショップの
具体的な内容の協議・準備

女性農業者も
トラクタを使う
ことがあるけど
操作が不安、

農ゼミと合同で
基礎座学講習会
を計5回開催！



町の機械センターに
依頼して、研修会を
行うのはどう？

〈ワークショップ企画の目的と経緯〉

令和4年3月

トヨタ自動車による
女性農業者のための
講習会(トヨタ生産方式)を受講！



令和5年4月

企画会議にて、
「講習会の内容を女子会の中で共有し、
それぞれの営農に生かしてほしい！」



令和5年12月

企画係の進行のもと、
ワークショップを開催！



「ムタムラムリを減らした
効率的な農作業を！

作業進捗管理表(年間
行動予定ポード)を
作成！

- ・ワークショップの開催にあたっては、トヨタ式の講習会での学びをもとに、平取町の女性農業者の栽培技術の向上や経営参画に繋がる内容になるよう、企画係内で協議を重ね準備を進めた。

〈関係機関との役割分担〉

関係機関と連携し、講習会開催を支援



トマト・胡瓜部会役員のほ場視察

3 活動の成果

〈ワークショップの開催〉

- ・役割分担を行い、企画係による説明・進行のもとワークショップの開催に至った。
- ・企画係が主体となりワークショップの企画・運営を行ったことで、組織運営の自信に繋がった。

企画係が担った役割

- 参加呼びかけ
- 説明資料作成
- 司会進行
- ランチの手配

普及Cが担った役割

- 企画・運営への助言
- 材料調達

ワークショップの様子



企画係による進行



情報交換の様子



完成したボードの紹介

～作業進捗管理表(年間)の作成～

- ・1年間の作業内容と困っていること・工夫していることを参加者同士で共有したことで、栽培知識・技術の向上に繋がった。

作業項目	5月			6月			7月			8月			9月			10月	
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	
基本作業			鉢上げ			定植											収穫
ハウス準備			施肥・耕起(2週間前)			穴開け(前日)											
播種						1段目以下播種											
誘引						誘引①						誘引②(3-4段目間)					

作業の中で工夫・注意している点
困っている点

鉢上げ時：かにスプーンを使うときれいに苗がとれる！
定植時：日焼け対策で、黒遮光のみ花房を内側に向けて定植

収穫時：収穫量が多い時期はすぐコンテナがいっぱいになり、ハウスの行来が大変、

作業進捗管理表の作成例

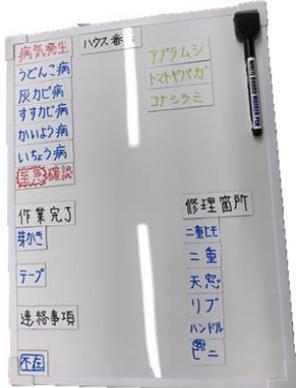
1年間の作業内容・時期を記録に残すことで、来年に生かせそう！

定植時の苗運びが重くて負担、

私は、定植ハウスに苗を運んでからポットにかん水するよ！

～行動予定ボード(1日)の作成～

- ・1日の行動予定の共有や従業員への作業の指示など各々の経営の合わせたボードを作成し、参加者同士で発表し合った。



私は、病害虫の発生や修理箇所のあるハウスを共有するためのボードを作ったよ！
病害虫の早期防除など、迅速な対応に繋がらそう😊

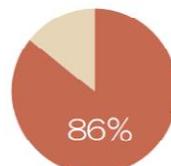
私は、夫婦の午前と午後の行動予定と、ハウスごとの作業を把握できるボードにしたよ！
フリースペースも作って、連絡事項の共有もできるようにしたよ☆



～参加者の反応～

- ・自分たちの行動予定やハウスの作業状況を把握・指示するボードを作成したことで、経営参画への意識が向上した。
- ・アンケートでは、「ざっくばらんに情報交換ができて良かった」「他の農家さんの作業のポイントが知れて参考になった」等の声があり、栽培知識・技術の向上に繋がった。

Q 今回の内容をご自身営農に生かそうと思われましたか？



■ 思った ■ まあまあ思った

・作業内容を目に見える形で残すことで、やるべきことが明確になった。

・ボードで行動予定やハウスの作業状況を共有することで、効率的に作業をできると思った。

4 残された問題点

- ・女子会会員への情報発信ツールが使えない会員があり、講習会等の案内が行き届いていない可能性があるため、ツールの見直しが必要がある。
- ・企画係だけでなく、会員の意見・要望も取り入れた講習会を計画していく必要がある。

5 今後の対応

- ・作成したボードが個々の次年度の営農に活用されているか確認する。
- ・栽培技術向上に向けた自主的な講習会開催の支援を継続して行う。